

## 活動事例

# 三産地伝統工芸士会イベント支援

【相手先企業】 結城紬伝統工芸士会，笠間焼伝統工芸士会，真壁石燈籠伝統工芸士会

### 【背景】

茨城県では、結城紬及び笠間焼，真壁石燈籠が伝統的工芸品に指定されており，この作り手である「伝統工芸士」に焦点を当てたイベントの支援を実施しました。伝統工芸士数は，結城紬 126 名，笠間焼 19 名，真壁石燈籠 27 名ですが，余り知られていないのが実情です。

### 【支援内容】

各伝統工芸士会と当センターで運営会議を 4 回開催し，以下の支援を行いました。

1) イベント告知 PR：ポスターやちらしの制作と配布，メルマガや HP での配信，新聞社等への情報提供

2) 会場設営：会場の選定，展示レイアウト，展示設営の他，当日の着付け体験・呈茶体験への協力

イベントは，タイトル：「用の美」体験，期日：11 月 4 日（金）～5 日（土），場所：笠間工芸の丘（笠間市笠間 2388-1）で開催されました。インターネット広告無料サービス 4 媒体にも 1 カ月ほど掲載され，見学者が約 300 名，体験者が約 80 名参加いただきました。



基礎となった事業

技術相談

現在の担当部門

繊維工業指導所 所長 小島 均ほか 2 名

TEL：0296-33-4154

窯業指導所 所長 鴨志田武ほか 2 名

TEL：0296-72-0316

## 活動事例

# 茨城・栃木県結城紬研究試作品合同展示会の開催

### 【内容】

結城紬ウィーク 2011 期間中の 11 月 12 日，13 日の 2 日間，当所と栃木県産業技術センター 紬織物技術支援センターとの合同で結城紬研究試作品展示会を結城市民情報センターで開催しました。

両県が研究開発した反物や着物，小物類の試作品他，技術指導や共同研究において商品化した作品など 28 点を展示し，608 名の来場者がありました。来場者アンケートでは今後の製品開発に参考となる意見が数多く寄せられました。着用する側の視点から意見を聞く場となっただけでなく，普段なかなか結城紬を目にすることがない一般の消費者に，見て触れてもらえる良い機会となりました。



（左写真 2 枚）展示会場の様子（右写真）密度の異なる縞柄を配し，一定の間隔で異色の縷糸をいれた本場結城紬（人気 No. 1 作品）

基礎となった事業

平成 23 年度試験研究指導費（標準）

現在の担当部門

紬技術部門 部門長 篠塚 雅子  
主任研究員 本庄 恵美  
主任研究員 石川 章弘  
主 任 中野 睦子

TEL：0296-33-4154